

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和4年度 第1期（オンライン研修）
「復旧・復興」コース

研修生オンライン交流会：R4年10月6日（木）10：30～12：00
受講期間 オンデマンド：R4年10月7日（金）～10月23日（日）
リアルタイム：R4年10月26日（水）13：00～17：00

【各講義の内容と学習目標】

| 手法 | No. | 単元名 | 単元の概要 | No. | 時間 | 講師名 | 学 習 目 標 |
|--------------|------------------------|---|---|-----|------------------------------|--|---|
| オンデマンド 講義 | 1 | 復旧・復興総論 | 災害からの復旧・復興は、一人一人の被災者復興と地域社会で取り組む被災地復興がある。その概念、行政・被災者等の取組みから、生活、産業、社会、市街地の復興プロセスとその全体像を理解する。 | 1 | 100分 | 中林 一樹 (明治大学) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 復旧・復興の理念と構成を説明できる。 ・ 災害復興の事例に学ぶ復旧・復興のプロセスと法制度を説明できる。 ・ 事前復興の意義と可能性を説明できる。 |
| | 2 | 公共基盤の復旧 (基盤復興Ⅰ) | 地域の基盤施設には、公共基盤と公益基盤がある。地方公共団体が主体となる公共基盤の復旧・再建の理念とその支援制度、対応業務の進め方について、事例を踏まえて学ぶ。 | 2-1 | 3分 | 中林 一樹 (明治大学) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共基盤の被災の復旧の概要と事例を説明できる。 ・ 公共基盤の復旧プロセスと対策計画を説明できる。 |
| | | | | 2-2 | 44分 | 弘松 崇明 (内閣府) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共基盤の復旧・復興事業制度とその概要を説明できる。 |
| | 3 | 仮設住宅 (生活復興Ⅰ) | 災害救助法による応急仮設住宅の提供として、建設型応急住宅の供給と、賃貸型応急住宅（みなし仮設）の供与について、県と市町村の役割分担、建設用地の選定や確保、入居と管理運営、撤去等の取組みを、事例に基づき学ぶ。 | 3-1 | 28分 | 齋藤 知宏 (内閣府) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設住宅の供与の目的と制度概要を説明できる。 |
| | | | | 3-2 | 22分 | 緒方 雅一 (熊本県) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸型応急住宅（みなし仮設住宅）の仕組みと業務の概要を説明できる。 |
| | | | | 3-3 | 53分 | 緒方 雅一 (熊本県) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設型応急住宅の仕組みと業務の概要を説明できる。 |
| | | | | 3-4 | 31分 | 小路永 守 (熊本県) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 応急仮設住宅の管理運営の取り組みと課題を説明できる。 |
| 3-5 | | | | 31分 | 細貝 和司 (新潟県スポーツ協会) | | |
| 4 | コミュニティ再生 (社会復興) | 被災地における地域社会の復興の重要性、被災地における地域コミュニティの役割と意義、地域社会の再生・復旧・活性化の取り組み方、復興基金の意義と活用等について、事例に基づき学ぶ。 | 4 | 77分 | 稲垣 文彦 (NPO法人ふるさと回帰支援センター) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会の再生や活性化の意義が説明できる。 ・ 地域社会の再生の取り組みのプロセスが説明できる。 ・ 地域社会の再生の事例や制度（復興基金の使い方等）を説明できる。 | |
| 5 | 市街地の復興まちづくり (基盤復興Ⅱ) | 土地区画整理事業など基盤整備を改良的に行い、被災地を安全で快適な市街地に復興する被災地復興の意義と基礎知識、計画策定、まちづくりによる事業推進の進め方と課題を、事例に基づき学ぶ。 | 5 | 65分 | 畑 文隆 (兵庫県西宮市) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災市街地の復興とその意義を説明できる。 ・ 被災市街地の復興まちづくりにおける地域住民の参加の意義と課題を説明できる。 ・ 地域住民の意向確認など復興モニタリングの重要性と事前復興の可能性を説明できる。 | |
| 6 | 住まいの再建 (生活復興Ⅱ) | 被災者復興の基盤となる住宅再建過程について、多様な仮住まいの確保、住宅の修理・個別再建・共同再建の支援、被災マンション再建の課題と支援、災害公営住宅の供給など、住宅復興とその課題を体系的に学ぶ。 | 6 | 65分 | 太田 亘 (UR都市機構) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 被災者による住まいの再建の理念と支援の概要を説明できる。 ・ 被災住宅・被災マンションの再建プロセスを説明できる。 ・ 災害公営住宅の意義と留意点について説明できる。 | |
| 7 | 地域産業の復興と雇用確保 (産業復興) | 地域経済の活力を維持し、被災者の雇用を確保する視点から、被災地における産業復興の取り組みの基本課題とその支援方策について、事例に基づいて基礎的な知識と考え方を学ぶ。 | 7 | 63分 | 藤田 千晴 (東京都中小企業診断士協会) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域経済の被災事例とその課題を説明できる。 ・ 地域産業復興の視点と支援のあり方を説明できる。 ・ 被災地における地域産業の復興事例と事業手法を説明できる。 | |
| リアルタイム 演習 | 8 | 復旧・復興演習 (復旧・復興対策の事前準備) | 自らの自治体の地域防災計画の復旧・復興編における被災後の復旧・復興に取り組むための不足事項や課題を検証し、大規模災害復興法に則した市町村、都道府県における復興対策の体系や体制について、演習形式で学ぶ。 | 8 | | 中林 一樹 (明治大学) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 復興体制の構築を説明できる。 ・ 復旧・復興のプロセスを説明できる。 ・ 復興計画の策定過程における住民・被災者参加の方法・仕組みを提案できる。 |
| | 9 | 全体討論/質疑応答 | 復旧・復興の基礎知識の学びを活用するために、事前に復旧・復興対策を準備しておく事前復興の取り組みについて、自治体における可能性と課題を討議し、研修で得たものをふりかえる。 | 9 | | 中林 一樹 (明治大学) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練を活かす「事前復興対策」の取り組み方を学ぶ。 |